

価格転嫁追いつかず利益確保も困難

原材料価格の高騰や円安の進行、新規感染者数の増加が下押し要因

～景況 DI 値は、前年同月比7.9ポイント上昇のマイナス5.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比31.5ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比同水準のプラス5.3。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比0.1ポイント低下のプラス31.5。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス26.3、前年同月比同水準のプラス42.1。非製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のプラス26.3、前年同月比同水準のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比同水準のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス5.3。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のプラスマイナス0。

景況 製造業では、DI 値前月比9.0ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス5.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比13.1ポイント上昇のマイナス2.6、前年同月比7.9ポイント上昇のマイナス5.2となった。製造業の一般食料品、紙・加工品、生コン、金属製品関連を中心に、部材調達難は改善傾向にあるものの、物価高騰に歯止めがかからず原材料仕入価格の値上げに対応を迫られるなど厳しい状況が続く。また、為替円安などの影響も深刻であり、価格転嫁も追いつかず利益確保も困難な状況が続いている。非製造業では、行動制限のない夏休みを迎え、小売業・商店街、旅館・観光を中心に季節需要が回復傾向となったものの、感染者数の急増により外出を控える傾向が強まり、イベント等の規模縮小など消費マインド低下へとつながった。県内景況は、原材料価格の高騰・高止まりや円安の進行、新規感染者数の増加が下押し要因となり不安と警戒感が広がっている。今後の対応について、需要回復へ向けた抜本的な経済対策が必要という声も多くなっている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

8月の全国倒産は、件数493件で、前年同月を9.8%上回った。負債総額は1,059億600万円（負債総額1,000万円以上）と、8月としては4年ぶりの1,000億超えとなった。不況型倒産の構成比は74.2%、4カ月連続の増加となった。

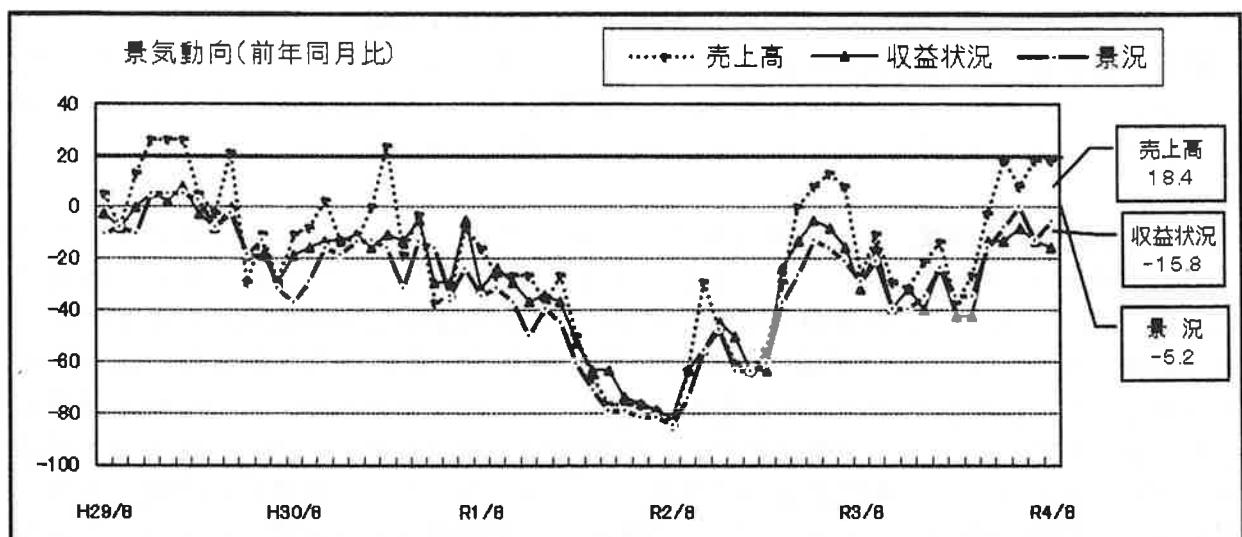
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月1件）、負債総額は17億円（前月1億円）、業種は「製造業」、「サービス業」が各1件、主因別は販売不振となった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」)

鳥取県の7月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.51倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.29倍）で、前月より0.01ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.42倍、米子所1.54倍、倉吉所1.73倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.67倍（季節調整値）で、前月より0.13ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比7.0%増加し、有効求人数は11.2%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他（65.5%）製造業（33.8%）、宿泊業・飲食サービス業（21.6%）、建設業（17.8%）、サービス業（11.9%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比6.7%減少し、有効求職者数は前年同月比1.7%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.33倍で、前年同月を0.04ポイント上回った。新規求人数は前年同月を3.9%上回った。



8月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	36.8%	-21.0 -31.5	31.6%	31.6%	0.0 0.0	23.7%	34.2%	-10.5 -15.7
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 -15.9	0.0%	8.3%	-8.3 -8.3	6.5%	6.5%	0.0 -12.9
(3) 販売価格	26.3%	0.0%	26.3 0.0	31.6%	5.3%	26.3 -10.5	28.9%	2.6%	26.3 -5.3
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	2.6%	5.3%	-2.7 -2.7
(5) 収益状況	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	21.1%	26.3%	-5.2 10.6	10.5%	26.3%	-15.8 0.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	10.5%	10.5%	0.0 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 0.1
(7) 設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -15.9						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 5.3	15.8%	0.0%	15.8 15.8	7.9%	0.0%	7.9 10.5
(9) 景 況	15.8%	26.3%	-10.5 9.0	26.3%	21.1%	5.2 26.3	21.1%	23.7%	-2.6 13.1

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	26.3%	5.3 0.0	52.6%	21.1%	31.5 -0.1	42.1%	23.7%	18.4 0.0
(2) 在庫数量	21.1%	0.0%	21.1 10.5	33.3%	8.3%	25.0 8.3	25.8%	3.2%	22.6 9.7
(3) 販売価格	42.1%	0.0%	42.1 0.0	47.4%	5.3%	42.1 0.0	44.7%	2.6%	42.1 0.0
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -21.1	2.6%	10.5%	-7.9 -10.6
(5) 収益状況	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	31.6%	26.3%	5.3 0.0	18.4%	34.2%	-15.8 -2.7
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 10.6	15.8%	26.3%	-10.5 -5.2	7.9%	18.4%	-10.5 2.7
(7) 設備操業度	15.8%	15.8%	0.0 5.3						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	15.8%	15.8%	0.0 10.6	7.9%	10.5%	-2.6 5.3
(9) 景 況	10.5%	26.3%	-15.8 5.2	31.6%	26.3%	5.3 10.6	21.1%	26.3%	-5.2 7.9

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、油脂類）や光熱費（LP ガス、電気等）の大幅な値上がりにより利益が圧迫されている。一部製品の値上げを試みるも、収益性の改善にはつながっていない。

醤 油⇒ 人流が増えてきたことで業界全体としては回復基調にあるが、県内は感染者が急増したことで回復に水を差す結果となり、低調な状況が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 円安が追い風となり、国内生産需要が高まってきている。インフレの進行に対応できず、仕事量に利益率が見合っていない。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 国内衣料品消費の回復力は弱く、繊維輸入品については最終小売値の値上げは為替円安、原材料高などから避けられず、購買意欲の回復は当分望めない。

【家具装備品】

⇒ 仕入価格等全てが上昇し、販売価格も上昇せざるを得ない状況にある。経費の上昇により収益を圧迫しており、業況は厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月に比べ減少。合板の生産量も前月比で減少した。原木価格は落ち着いてきており、製材価格は安定してきている。製材品の不足感は徐々に解消してきているが、動きに活発さは見られない。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 原材料の高騰で、経営にも影響が出てきている。これから秋にかけて繁忙期に入るが、利益率の低い状態での操業が懸念される。

【印 刷】

⇒ 受注件数は回復基調にあるが、1 件当たりの部数は減ってきているため、主要な印刷会社は業務の効率化を図り利益を上げる方向にシフトしてきている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 8 月の生コン出荷量は、前月比 1 5 % 減少、前年同月比 1 2 % 増加。各地区ともに大型プロジェクト事業が少なく、全体的に引き合いは低調。各セメントメーカーは 1 0 月より約 3, 0 0 0 円～3, 3 0 0 円の値上げを打ち出しているが、石炭の高騰が続けば年度末までにさらなる値上げ

が予想される。各資材の急激な値上げが続き、生コン価格の改定に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件が少なく、地元相手の小規模業者は厳しいが、県外物件を受注出来ているところは忙しい。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注は増加傾向だったが、半導体不足の影響により、納期の見込みが立っていない。自動車メーカーも部品不足が深刻で、減産を余儀なくされており、生産計画の正常化の遅れによる影響が益々懸念される。盆休み明け後、下落が続いていたスクラップ価格の値戻しが進み始めた。電炉メーカーは、約4ヶ月ぶりに買値を引き上げている。

鉄骨加工⇒ 大手製鉄メーカーは7月から線材価格を35,000千円/ト追加値上げを発表し、業界に大きなインパクトを与えている。

金属熱処理⇒ 8月の受注状況は前月比、前年同月比ともに減少となった。盆休みの影響もあるが、県内加工業者の熱処理依頼品の受注状況は減少した。また、物価高騰により消耗品費、修繕費、さらには加熱のためのエネルギーである電気やガスの料金値上げが甚だしく、生産コストの増大を招いていて、熱処理費に転嫁は避けられない状況である。

【電気機械器具】

⇒ 原材料不足の影響は徐々に回復傾向にある。受注も増加傾向にあるが、受注増に対して慢性的な人員不足による残業増加、生産稼働の細かな切り替え発生など課題が生じている。また、部材の高騰による価格転嫁が出来ていない等の要因で利益確保は厳しい。コロナの影響で出勤人員に制限がかかるなど、不安定な状況が続いている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 卸売業では、部材調達が追い付かず納期が定まらない。行動制限が緩和されたことで営業や出張が増えてきたが、未だ新型コロナによる影響が続いている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。果実部門でスイカ等の売り上げが大きく貢献している。取扱数量は、前年比は減少、前月比は増加となっている。果実は前月比、前年比とも増加しているが、野菜については減少傾向が続いている。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。取引量は減少したが、今年は行動制限の緩和によりお盆を中心に需要が増え、売上が増加した。

中部地区⇒ OA機器商品の納入遅延も緩和し、市場としては補助金の影響によりやや動き出しているが、原材料の値上げを販売価格へ転嫁しづらい業態・商品は厳しい。

西部地区⇒ 新型コロナ感染急拡大により一部で売上低下の動きが見受けられる。また、一部で半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。このほか、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられる。

水産物⇒ 盆休みの休漁に加え、月を通じて半時化模様が続いたことで昨年と同

様漁獲の少ない月となった。盆前に目立った水揚げもなく盆商戦は不調に終わった。底引き漁、ベニズワイガニ漁の休漁期にあたり、「夏枯れ」「極暑」も手伝って荷動きは低迷した月となった。

リサイクル原料⇒ 古紙相場は堅調に推移しているが、古紙の発生量は減少傾向。資源（鉄・非鉄）相場は8月下旬より回復傾向にある。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 相変わらず新型コロナ新規感染者数に左右される状況が続いている。前年に比べ行動制限もなく、帰省などで観光・宿泊客の来街が多くなってはいるが、コロナ前の集客状況と比べればまだまだ客数・売上ともに低迷している。8月に入り、感染者数の急増により外出を控える傾向が強まり、加えて猛暑で高齢者を中心に外出を控えたことが消費の低迷に直結した。商店街では、駅前のシンボルでもある鳥取大丸の丸由百貨店へのスムーズな移行をサポートしつつ、商店街等と連携しながらイベントを行った。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、倉吉市との共催による「打吹まつり」が花火のみのイベントに縮小となった。お盆の帰省者の来街は振るわなかったが、「銀座プレミアムグルメクーポン券」の回転が好調で飲食店は活気を見せた。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、8月に商店街最大のイベント「土曜夜市」を開催し、終日を通して約1000人の集客となった。9月は「サンロードマーケット#カレー部」が行われる予定。

境港市の水産物小売では、前月と同様魚種が少ない時期となり、水産物販売店舗は仕入を抑えている。そのため鮮魚販売は商品が限られるが、飲食店は帰省客等で賑わった。感染者が減少しつつあるが、小規模店舗は感染者発生時に営業への影響が懸念される。どこも従業員数ギリギリで経営しているため、休業せざるを得ない状況で、補償もなくかなり厳しい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、砂の美術館がオープンした事もあり、入込数は増加傾向で推移した。お盆の期間中の天候は良くなかったものの大幅に増加した。売上高は前月比、前年同月比ともに増加し収益状況は好転した。

米子市のホテル・旅館では、8月は新型コロナ感染拡大により予約のキャンセルはあったものの、夏休みの効果により前月比では宿泊客数・日帰り客数ともに増加したことから、売上高、収益状況も好転した。前年同月比では、日帰り客は減少したが、宿泊客数が増加したことから売上高は増加し、収益状況も好転した。業界の景況は、通常期の85%程度まで戻っており、やや復調の兆しも垣間見える。

三朝温泉では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

羽合温泉では、8月は感染の急拡大があったものの、昨年のような行動制限要請がなかったことでお盆休みを利用した宿泊が伸び、来訪者は

1万人を超えることができた。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて1,673台で前月比15%減少、前年同月比は10%減少。継続検査台数（軽自動車を含む）は14,084台で前月比が3%減少、前年同月比は5%増加。中古車（軽自動車を含む）は503台で前月比が23%減少、前年同月比は16%減少となった。全体的に前月比で減少となり、特に新車・中古車の販売が前年同月より大きく落ち込んでいる。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額83億円（前年同月比17%減）、件数135件（前年同月比30%減）となった。年度累計（令和4年4月～令和4年7月）は、請負金額314億円（前年同月比14%減）、件数613件（前年同月比9%減）となった。市町村などが押し下げ、前年比マイナスが続く。設備投資は、単月、3カ月平均ともに前年比マイナス。住宅建設は単月前年比プラスも、3カ月平均はマイナスとなった。建設資材や燃料価格の上昇が価格に十分に転嫁できておらず、設備機器の納期遅れ・欠品も含め、採算悪化は継続している。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は256戸（持家170戸、貸家86戸）で、前月比15%増加、前年同月比41%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 8月の荷動きは、製造業の輸送量は概ね横ばいとなったほか農作物の出荷量も減少が見られた。季節商品で出荷量は増加したものの全体としては横ばいが続いている。復路荷物も減少傾向は続き空車運行も増えている。燃料価格は高止まりしており、収益率が低下し厳しい状況が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

西部地区⇒ 地場農産物関連出荷について、夏の果実関連が生産最盛期を迎えた。後継者不足や生産者数減少の影響あり、出荷量は減少している。また、ウッドショックによる合板関連、コロナ禍による金属関連製造業者の生産調整に伴い、売上高は低調推移した。燃料関連については政府による燃料油価格激変緩和対策の効果も一部認められたが、依然、燃料価格は高水準で推移、高止まり傾向が続く。荷主に対し輸送価格交渉を行い一定の効果は散見されたものの、経営に支障をきたしている状態が依然続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・金融支援（元本返済の猶予）の延長【一般食料品製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・補助金・助成金の継続、支援を望む。【旅館業】
- ・業種に偏りなく事業規模や雇用に併せた支援をしてほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	15.8
	非製造業	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	5.3
	全業種	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	10.6
在庫数量	製造業	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	10.4
	非製造業	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-16.7
	全業種	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0
販売価格	製造業	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	5.2
	非製造業	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	31.6
	全業種	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	18.4
取引条件	製造業	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	5.2
	全業種	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	2.6
収益状況	製造業	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-10.5
	非製造業	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	15.8
	全業種	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	2.6
資金繰り	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	26.3
	全業種	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	13.3
設備操業度	製造業	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	15.7
雇用人員	製造業	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	21.0
	全業種	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	10.6
景況	製造業	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	19.5
	非製造業	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	42.0
	全業種	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	26.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売 上 高	製 造 業	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	36.9
	非製造業	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	52.6
	全 業 種	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	44.7
在庫数量	製 造 業	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	36.9
	非製造業	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	16.6
	全 業 種	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	29.0
販売価格	製 造 業	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	26.3
	非製造業	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	57.9
	全 業 種	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1
取引条件	製 造 業	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	5.2
	非製造業	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	0.0
	全 業 種	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	2.7
収益状況	製 造 業	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	0.0
	非製造業	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	31.6
	全 業 種	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	15.8
資金繰り	製 造 業	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	15.8
	非製造業	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	26.3
	全 業 種	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	21.1
設備操業度	製 造 業	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	31.5
雇用人員	製 造 業	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	10.5
	非製造業	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	26.3
	全 業 種	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	18.5
景 況	製 造 業	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	5.2
	非製造業	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	42.1
	全 業 種	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	23.8

情報連絡員報告総括表(令和4年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	2	0
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	0	2
	木材・木製品	0	2	2	0	4	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	0	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	0
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
非製造業	輸送用機器																										
	その他																										
	卸売業	3	9	7	2	16	1	5	14	0	1	17	1	0	14	5	0	17	2	2	13	4	0	19	0	3	11
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1
	商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2	0	2				0	4	0	0	0	2
	サービス業	3	1	1			2	3	0	0	5	0	3	1	1	2	3	0				3	2	0	4	0	1
	建設業	0	0	1			1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	運輸業	0	1	1			0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	0	2
	その他																										
	19	6	7	6	0	10	1	6	12	1	0	18	1	4	10	5	2	15	2			3	16	0	5	10	4
100%		31.6%	36.8%	31.6%	0.0%	83.3%	8.3%	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	21.1%	52.6%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%			15.8%	84.2%	0.0%	26.3%	52.6%	21.1%
	38	9	16	13	2	26	2	11	26	1	1	35	2	4	24	10	2	32	4	2	13	4	3	35	0	8	21
	100%	23.7%	42.1%	34.2%	6.5%	83.9%	6.5%	28.9%	68.4%	2.6%	2.6%	92.1%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	68.4%	21.1%	7.9%	92.1%	0.0%	21.1%	55.3%

情報連絡員報告総括表(令和4年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0	
	木材・木製品	0	2	2	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
	出版・印刷	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	0	1	
	化学ゴム																												
製造業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
	鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	19	6	8	5	4	15	0	8	11	0	1	17	1	1	10	8	0	17	2	3	13	3	0	18	1	2	12	5
	小売業	100%	31.6%	42.1%	26.3%	21.1%	78.9%	0.0%	42.1%	57.9%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	52.6%	42.1%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%
	商店街	4	2	0	2	3	1	4	2	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0					0	6	0	1	5	0
	サービス業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0					0	1	0	1	0	0
	建設業	1	2	1	1	3	0	1	2	1	0	3	1	0	3	1	0	2	2					0	2	2	0	2	2
	運輸業	4	1	0				2	3	0	0	4	1	4	0	1	3	2	0					3	2	0	4	0	1
非製造業	建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1						0	0	1	0	0	1
	運輸業	0	0	2				1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2					0	2	0	0	1	1
	その他																												
	その他	19	10	5	4	4	6	1	9	9	1	0	16	3	6	8	5	3	11	5					3	13	3	6	8
非製造業	100%	52.6%	26.3%	21.1%	33.3%	50.0%	8.3%	47.4%	47.4%	5.3%	0.0%	84.2%	15.8%	31.6%	42.1%	26.3%	15.8%	57.9%	26.3%					15.8%	68.4%	15.8%	31.6%	42.1%	26.3%
	38	16	13	9	8	21	1	17	20	1	1	33	4	7	18	13	3	28	7	3	13	3	3	31	4	8	20	10	
非製造業	100%	42.1%	34.2%	23.7%	25.8%	67.7%	3.2%	44.7%	52.6%	2.6%	2.6%	86.8%	10.5%	18.4%	47.4%	34.2%	7.9%	73.7%	18.4%	15.8%	68.4%	15.8%	7.9%	81.6%	10.5%	21.1%	52.6%	26.3%	

